

令和2年6月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和2年6月29日(月) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室

出席者	教育長	伊藤博章
	教育委員	武輪節子
	教育委員	大庭文武
	教育委員	築瀬眞知雄
	教育委員	油川育子

事務局出席職員	教育部長	石亀純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本淳一
	教育部次長	中村雅臣
	学校教育課長	大館秀光
	教育指導課長	南舘義孝
	社会教育課長	館合裕之
	是川縄文館副館長	松橋広美
	総合教育センター所長	竹花和人
	こども支援センター所長	大坂吉弘
	図書館長	田茂隆一
	博物館長	小保内裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年6月教育委員会定例会を開会します。
本日の議事録署名は、築瀬委員を指定します。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。
〔質疑なし〕

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。
はじめに、議案第23号「八戸市学校給食審議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第23号 八戸市学校給食審議会委員の委嘱について

(大館学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。
〔質疑なし〕

それでは、議案第23号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第23号を原案のとおり決定いたします。
次に、議案第24号「八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

議案第24号 八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会委員の委嘱について

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。
〔質疑なし〕

それでは、議案第24号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第 24 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 25 号「八戸市立小学校及び中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第 25 号 八戸市立小学校及び中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について

(大館学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第 25 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第 25 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 26 号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第 26 号 八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

(大館学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第 26 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第 26 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 27 号「令和 3 年度使用小学校用教科用図書の採択について」事務局からの説明をお願いします。

議案第 27 号 令和 3 年度使用小学校用教科用図書の採択について

(竹花総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第27号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第27号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。はじめに「令和2年6月八戸市議会定例会一般質問事項について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたらお願いします。

【令和2年6月八戸市議会定例会一般質問事項について】

(築瀬委員)

1ページ、田名部議員が質問しました「市中学校体育大会夏季大会の中止について」です。市教委としては「中止の決定をした中体連の決断を尊重する」という答弁をしており、その内容については良いかと思えます。また「本大会は3年生にとっては3年間の集大成となるべく大会であり、誰もが待ち望んでいた大会でもある」とも述べており、その気持ちは生徒たちの偽らざる気持ちではないかなと思っています。私も同様の思いですし、保護者や関係者の皆さんもそう思っていると思います。特に青春をかけ、部活動に一生懸命打ち込んできた子どもたちのことを考えると、やりきれない気持ちでいっぱいになるわけです。

田名部議員からは代替大会等の開催についても要望されております。中体連としての苦渋の決断を尊重すべきであると思う一方で、何とか別な形でやる方法はないかと考えている方も多いのではないかと思います。そんな子どもたちの気持ちを汲み取って、多くの方が応援してあげたいと思っているのです。代替大会は難しいとは思いますが、せめて、お互いに励まし合ってきた仲間として学校間で連絡を取り合い、密にならない程度の学校を集め、練習試合のようなミニ大会の開催といった工夫ができないものかと思えます。また、各競技委員会もありますので、そういったところで3年生の励みになるような活動を工夫し、子どもたちの頑張りに応えてあげることが大事なことであると思います。そして、学校や各団体から相談があった場合には、歯止めをかけるだけではなく、教育委員会として応援していくような姿勢をもって対応していただければありがたいと思います。

また、新型コロナウイルスによる不安定な状況の中ですので、小学校6年生や中学校3年生などの子どもたちは色々と気持ちが揺れているかと思えます。今後、小・中学校では体育祭や文化祭、修学旅行が行われていくかと思えますが、子どもたちは生活の中で溜まったエネルギーを発散する場所を求めている気がしますので、そういった点からも考えていってほしいと感想をもちました。

(伊藤教育長)

そのほか何かございませんか。

(大庭委員)

教育委員会に関連する一般質問の多くが、新型コロナウイルスに対するものであったと思います。八戸市の場合、夏休みを短縮し、小学校は3日間、中学校は5日間の授業日を追加で設定することで、必要な授業日数を確保できる見通しとのことですので、生徒の負担を考えると、想像していた以上に短い日数で済むのではないかと感じており、ほっとしています。生徒の心身の健康を保ち、学校での日常生活を早く回復するために取られた教育委員会事務局の細やかな対応と決断、そして、現場で生徒に対応されている先生方に感謝をしたいと思います。今後も様々な対応が必要となる場合があるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。一般質問の中で感じたことについて、二点述べさせていただきます。

一点目はGIGAスクール構想、そしてオンライン授業に関することです。子どもたちが将来、通信機器やコンピュータ、あるいはロボット等に関わるための能力を身に付けていくことは、大きな課題であると思っています。また、再び臨時休業等が必要になった場合に備えておくことも必要だと思っています。今回の新型コロナ対応の一つとして、一気にオンライン授業がクローズアップされておりますが、日常の教室における授業の重要性というものは、見失われてはならないと考えています。都市型の学校によっては、そのオンライン授業の環境が整備されているところもあるかと思いますが、特に公立の義務教育の学校にあっては、家庭での経済的な環境整備の差による教育格差は避けるべきだと考えていますので、通信ネットワークの構築と1人1台端末の一体的な整備を進める際は、そのような格差が生じないように配慮していただきたいと思っています。

また、オンライン授業を実践している方からの声として、双方向授業であっても生徒の手元が見えない、生徒の理解の程度がつかめない、理解不足の生徒は授業に置いていかれる等の問題があるとも聞いています。少し関係のある八戸工業大学の話になりますが、大学の教授の中には、コンピュータ等に慣れている工学系の学生とのオンライン授業であっても、学生の理解度がつかめず、授業に不安を感じる場合があると話す教授もいました。このことは、日常の教室での授業の素晴らしさを再認識させてくれるものであり、学生一人一人の理解度を把握しながら授業を進める大切さを表していると思いますので、そういった点を見失わずに、効果的なオンライン授業の研究を進めていただければと思います。

二点目は、9月入学に関することです。教育における国際交流、国際化、その必要性は十分認めておりますが、私は政府が来年度からの導入を見送ったことについて、ほっとしております。答弁内容においても、この新型コロナウイルス対応の中で議論されるのは時期尚早であるという考え方でしたので、私も同感であります。コロナの影響で、長期にわたる学校休業を強いられている東京や大阪の生徒たちには大変気の毒なことなのですが、その対策として突如9月入学の問題が提起されたことに、正直びっくりいたしました。しかも、その理由として、コロナ対応に乗じてグローバルスタンダードを掲げ、急に9月入学を推進しようとするには、問題が多すぎると感じていました。

慶應義塾大学の教授の調査発表では、日本の学生における海外への留学経験者は0.8%、受入れは3.5%と非常に少ないとの意見もあります。留学する学生が少ない理由としては、語学力や単位の互換性の問題、就職活動の時期、経済力の問題等が特に大きく、入学時期が決定的な要因ではないことも述べられております。生徒や学生が海外での経験をするのは大賛成ですが、まずは現在のコロナ対応を優先し、その後、

じっくりと社会制度、生徒や保護者の負担、ひずみの解消、経済的な問題等を検討して実施していくべきであると考えています。

(伊藤教育長)

そのほか何かございませんか。

(油川委員)

二日間にわたる市議会一般質問の答弁内容を読みましたが、その質問のほとんどがコロナ禍に関するものであって、教育委員会の皆様、そして小・中学校の現場の先生方が大変努力されているということを知ることができました。6月16日付けで文部科学省から「衛生管理マニュアル学校の新しい生活様式」が示されておりますが、その内容とも合致していて、適切な学校運営であると思えました。これからも対応等大変かとは思いますが、適時適切に行っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

そのほか何かございませんか。

(武輪委員)

GIGAスクール構想については、たくさんの議員さんから一般質問がなされておりますが、11ページの岡田議員への答弁内容についてです。その中で、将来的な端末の活用方法として、授業だけでなく、家庭への持ち帰りによる学習等についても考えているようです。通信環境がない家庭に対しては、Wi-Fiルーター等の支援もあるようですが、家庭でのオンライン学習については、保護者の理解や協力が必要になると思いますので、十分に説明し慎重に進めてほしいと思います。大庭委員からもお話がありましたが、私は特に低学年においては、先生と子どもたちが顔を合わせて、実際に触れながらの授業がとても大事だと思っております。様々な事態に備えて環境整備を行いながらも、大切なことを見失わないよう、よろしくお願ひしたいと思ひます。

もう一点になります。学校や家庭において、オンライン授業をはじめ、これからパソコンを使用する場面が増えてくることにあたって、子どもの目の健康被害ということに気をつける必要があると考えております。特に、成長過程の低学年の子どもにおいては、目に対する被害がとても強く出てくるのではないかと思います。休憩する場合は、パソコンから離れてゲームをしたり、ほかの何かをするのではなく、遠くの緑を見たり、良い空気を吸って体を休めたり、目をしっかり休めることが大切になります。これからGIGAスクール構想の実現に向けて、子どもたちにパソコンの使い方等を指導することと並行して、目に対すること、姿勢に対することも含めて指導していただきたく思ひます。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、「令和2年度八戸市民大学講座の開催中止について」事務局からの説明をお願いします。

【「令和2年度八戸市民大学講座」の開催中止について】

(館合社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「縄文学習館の休館について」及び「夏季企画展「泉山兄弟と是川遺跡」について」は、どちらも是川縄文館からの報告になりますので、合わせて事務局からの説明をお願いします。

【縄文学習館の休館について】

【夏季企画展「泉山兄弟と是川遺跡」について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「青少年のための科学の祭典2020 八戸大会の開催中止について」事務局からの説明をお願いします。

【「青少年のための科学の祭典2020」八戸大会の開催中止について】

(竹花総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「博物館・南郷歴史民俗資料館の特別展について」事務局からの説明をお願いします。

【博物館・南郷歴史民俗資料館の特別展について】

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

北東北は、飢饉の歴史とともにあるといっても過言ではないと思うのですが、そのことを知らずに生活されている市民も多いかと思しますので、この「飢饉の郷土史」を振り返るという内容は、とてもいいことであると思います。飢饉によって亡くなった方々、また、飢饉の中を生き抜いた方々の上に、私たちの今の幸せな生活があると思いますので、改めて先人に思いをはせるいい機会になるのではないかなと思いました。また、飢饉は過去のことと思われがちですが、ヤマセの吹く八戸では冷害に見舞われることが多く、1993年の米騒動も記憶に新しいかと思えます。世界においては、未だに飢饉は過去の出来事ではなく、隣り合わせで生活を送っている人も多いことから、人は自然とともにどう生きていくかを考えるいい機会になると思います。先人たちの生き方を学ぶということでは、このコロナ禍において、新型コロナウイルスとどう向き合っていくべきかを考える企画にもなるのでとてもいいなと思いました。

展示構成が「序章」から「第4章」まで分かれています、大変興味をそそるような流れになっていると思います。「第1章 飢饉の有り様 (ありよう)」、「第2章 飢饉の有り様 (ありさま)」となっていますが、あえて表現を変えていると思いますが、この見せ方を変えている点について伺いたいと思います。

(小保内館長)

第1章の「有り様 (ありよう)」については、藩の公式な記録をもとにした見方、それに対して、第2章の「有り様 (ありさま)」は、個人の方が残された記録類があるのですが、その表現等をなるべく生かす形で、一般市民の方がその当時の生活をどのように見ていたかを紹介しています。

また、今回の特別展はコロナ渦での開催となりましたが、この企画自体は3年前から考えており、偶然が重なったかなと思います。しかし、本来2020年はオリンピックイヤーとなる予定でしたので、全国各地のそれぞれの分野で、遺産づくりというものをやっています。その中で、八戸では何をやるべきかを考えたときに、負の遺産ではありましたが、八戸の場合は「ヤマセ」、「ケガジ」であろうと思い、3年前から取り組んできたものでございます。そういう点も踏まえて見ていただければと思います。

(伊藤教育長)

そのほか何かございませんか。

〔質疑なし〕

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

〔なし〕

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(武輪委員)

三点、お話しさせていただきたいと思えます。一点目は、総合保健センターについてです。先週の火曜日に、総合保健センターとこども支援センターを見学させていただきました。大変素晴らしい施設で、廊下も広く、利用者の使い勝手が考えられており、色々な工夫や配慮がされていると感じました。これまで、

教育委員として先進地視察に行かせていただきましたが、立川市や日野市の視察のことを思い浮かべておりました。我が郷土八戸において、このような立派な施設ができたことを大変誇らしく思うとともに、この施設をどう生かしていくか、どう利用していただくかが一番大切なことかと思えます。以前に、幼稚園の保護者の方から、利用する際は敷居の低い場所にしてほしいということをおっしゃられたことがありましたので、せっかくの素晴らしい施設ですので、市民にとって利用しやすい、行きやすい場所になってほしいなと切に思っております。

二点目です。子どもたちの夏休みの過ごし方について、お話をさせていただきます。先生方の御努力もあり、小・中学校では日常の生活に戻りつつあります。青森県内においては、今のところ感染者も出ておりませんので、楽しく学校生活を送っていることと思えます。夏休みまで1か月弱となりましたが、さらに気を引き締めて、1学期の終業式が無事迎えられるように過ごしてほしいと思えます。また、今年の夏休みは、子どもたちにとっても今までと違う夏休みになると思えますので、その過ごし方について学校、家庭で話し合うことが大切だと思えます。例えば、子どもたちが楽しみにしているプール。夏休み中は暑いですから、プールがない暑い日をどう過ごすかといった生活面についてです。また、お祭りや町内の行事、様々なイベントが中止となり、子どもたちの楽しみがなくなったわけですので、家の中での時間が多くなるかもしれません。本来であれば、三社大祭に出たりと、それぞれに夏休み中の目標があるかと思えますが、今年に限っては本当に少なくなっております。夏休み中は、家庭での生活が主になると思えますが、学校側としても子どもの安全等に目を配り、今一度、夏休みの過ごし方について、保護者の方と一緒に考えていただきたいと思えます。

三点目は、オンライン会議についてです。各部署で開催している会議の中には、県外にお住いの大学教授であったり、専門家の方が出席する会議等があるかと思えます。今後、様々な事情により、遠方から八戸に来ることが難しくなることもあるかと思えますので、オンライン会議を視野に入れることも大切かと思えます。今は、八戸市においては感染者も出ておりませんし、日本においても県境をまたいでの移動制限もありません。しかし、また移動制限がかかることも起こり得るかもしれません。今すぐということではありませんが、色々なことを想定しながら、大切な会議等ができるよう環境整備していただきたく思えます。

(伊藤教育長)

そのほか委員の皆様から何かございませんか。

[なし]

閉 会

これもちまして令和2年6月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時35分閉会)